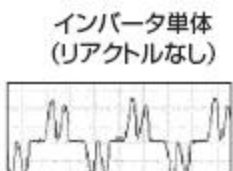


1 電源高調波抑制

特別な対策なしで、電源電流ひずみ率5%以下、入力力率0.98以上を実現*。

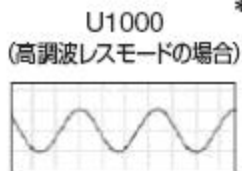
電源電流
波形(例)



電流ひずみ 88%
力率 0.75



電流ひずみ 33%
力率 0.9



電流ひずみ 5%
力率 0.98

*: 定格出力電流時。

高調波抑制
対策ガイドライン
をクリア(K5=0)、
IEEE519準拠。

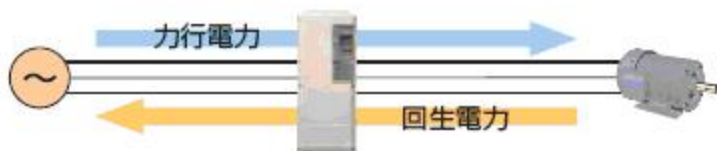
高力率

力率が低いと、大きな電源設備
容量が必要となります。

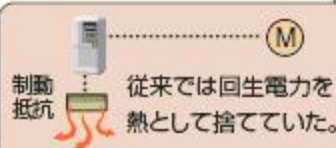
力率が高いと、電源設備の小
形化を実現できます。

2 電源回生

双方向スイッチを用いることで回生能力を有し、連続回生動作が可能。



エネルギーの双方向性により、力行電力でモータを回す
ことも、回生電力をそのまま電源に戻すことも可能。



従来では回生電力を
熱として捨てていた。

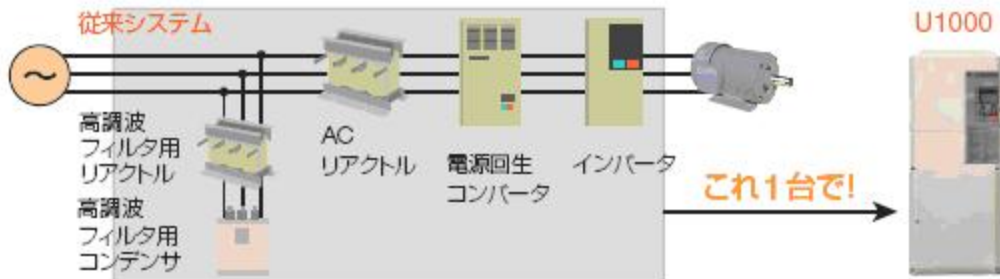
省エネ

回生電力を熱として捨てず
に有効利用します。

制動抵抗が不要で制御盤の
小形化、低発熱を実現します。

3 シンプルなシステム構成

上述の高調波抑制や電源回生機能などが1台で可能でシステム構成がシンプル。



高効率

オールインワンでエネルギー
ロスを低減し、高効率を実現
します。また、周辺機器がない
ため、システムの小型化と
省配線に貢献します。